

平成 23 年度 第 2 回病院・薬局実務実習関東地区調整機構委員会（総会）議事録

日 時：平成 24 年 2 月 20 日（火） 14：30～17：00

場 所：慶應義塾大学薬学部 2 号館 4 階 460 記念講堂

出席者：関東甲信越 10 都道府県薬剤師会および病院薬剤師会委員 21 名（代理 1 名、オブザーバー 3 名を含む）、日本保険薬局協会 2 名、日本病院薬剤師会 1 名、薬学教育協議会 1 名、薬系 23 大学委員 45 名（代理 3 名、オブザーバー 7 名を含む）、薬学教育協議会代表理事および事務局長

司会進行：伊東副委員長

[資料]

1. 薬学教育協議会からの報告関連資料（資料 1-1～1-3-3）
 - 資料 1-1：第 17 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事次第
 - 資料 1-2：トラブル防止のための手引き書（素案）
 - 資料 1-3-1：平成 22 年度実務実習実施結果（病院）
 - 3-2：平成 22 年度実務実習実施結果（薬局）
 - 3-3：平成 23 年度在籍者数（5 月 1 日現在）
2. 平成 23 年度関東地区調整機構実務実習実施状況（資料 2-1～2-2）
 - 資料 2-1：第 I 期実務実習実施状況について
 - 資料 2-2：第 II 期実務実習実施状況について
3. 小委員会報告（資料 3-1～3-4）
 - 資料 3-1：平成 23 年度 第 1 回関東地区調整機構大学小委員会議事録
 - 資料 3-2：平成 23 年度 第 1 回関東調整機構薬局小委員会議事録
 - 資料 3-3：病院薬局実習関東地区調整機構第 1 回指導薬剤師養成小委員会議事録
 - 資料 3-4：トラブル防止小委員会報告
4. 関東地区調整機構 平成 23 年度 予算執行状況の報告
5. 平成 23 年度 第 1 回病院・薬局実務実習関東地区調整機構委員会（総会）議事録（案）
6. 病院・薬局実務実習関東地区調整機構 平成 24 年度事業計画（案）
7. 病院・薬局実務実習関東地区調整機構 平成 24 年度予算（案）
8. 平成 25 年度エントリーの日程（案）（資料 8-1～8-2）
 - 資料 8-1：平成 25 年度実習施設決定までのスケジュール案（病院実習）
 - 資料 8-2：平成 25 年度実習施設決定までのスケジュール案（薬局実習）
9. 病院薬局実務実習関東地区調整機構規則

参考資料（日本薬剤師会資料）

その他の資料

病院・薬局実務実習関東地区調整機構規則 新旧対照表

平成 23 年度 第 2 回病院・薬局実務実習関東地区調整機構総会 出席者名簿

[報告事項]

1. 薬学教育協議会報告（資料1-1～1-3-3）

望月薬学教育協議会代表理事より、次の報告があった。

第17回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会報告では、委員会および理事会に関しては従来通りで進める。認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップは平成23年度においては、39回実施され、2379名の参加者であった。参加者には必ず、認定を受けること、実習生を受け入れることを要請した。また、アドバンスワークショップの開催も検討中であることなどが報告された。その他の報告として、日本薬剤師会から6年制課程終了薬剤師の待遇面の改訂がなされたこと、ふるさと実習の推進が要望されていることが述べられた。

ふるさと実習に関しては、地区調整機構からの学生とふるさと実習希望学生とが全国同一レベルで実習施設の選択が行えることが望まれている。

協議事項では、ワークショップ事業の経費を別経費とすることや各 Web システムに出されている要望を検討し、可能なレベルで同一の方向性で協議して行くと報告された（資料1-1）。

平成24年度の調査に関しては、資料1-3-1～1-3-3をもとに平成23年度の説明がなされ、調査を実施する旨が述べられた。

さらにトラブル防止に関して、薬学教育協議会がトラブル事例の収集を行い、地区調整機構との連携のもとに対策・指導を実施して行くとする方向性が示された（資料1-1）。その一環として、トラブル防止のための手引き書（素案）（資料1-2）が示され、関東地区調整機構においても内容の確認をするよう要望された。

2. 平成23年度関東地区調整機構実務実習実施状況（資料2-1～2-2）

中村委員長より関東地区調整機構で収集した平成23年度第Ⅰ期、Ⅱ期のトラブルに関して報告がなされた。

これらの報告から、大学は学生に対して、必ず指導薬剤師の指示に従って実習するよう指導を徹底すること、受入施設は薬剤師免許をもたない卒前実習であることから、学生の行った内容を必ず確認して欲しい旨の要望があった。平成24年度にはトラブルを未然に防ぐ方向性で検討する旨が示された。

3. 小委員会報告（資料3-1～3-4）

(1) 大学小委員会（資料3-1）

宇佐美大学小委員会委員長より第1回大学小委員会報告があった。

Web システムに関しては、今後調査し受入れ側の負担のかからない方法を検討する。受入れ施設との連携は3回の訪問にこだわらず Web システム等を活用することで実施可能とした。大規模災害時の対応に関しては、マニュアルはまだないが、統一した行動をとるためには実習の中止、継続について薬学教育協議会での検討も希望することが述べられた。平成25年度の実習時期に関しては、Ⅲ期の就職活動との関連はあるが、時期は現状のまま概ね了解され、就職活動については、大学間での統一が望まれるとのことが報告がされた。

(2) 病院小委員会

村田病院小会議委員長より、メールでの会議を行っているが、特に結論に至った検討は行っていない旨の報告がされた。

(3) 薬局小委員会 (資料3-2)

鶴飼薬局小委員会委員長より、第1回薬局小委員会報告があった。

薬学教育協議会から指導薬剤師に直接WS関連アンケートが送付されたが、問い合わせが各県薬に寄せられたことから、県薬実務実習担当者にも情報提供をお願いしたいとの要望がなされた。

教員の薬局訪問に関しては、状況に合わせて大学と施設間で調整をしていくことが望ましいとのことであった。実習中のトラブルについては、実習初期に発生することが多いため、初期の対応が肝心であり、また、ヒヤリ・ハット事例の把握も必要という報告がなされた。

(4) 指導薬剤師養成小委員会 (資料3-3)

小佐野指導薬剤師養成小委員会委員長より、平成23年度第1回指導薬剤師養成小委員会報告があった。

平成24年度関東地区調整機構主催の指導薬剤師養成WSが薬学教育協議会で承認されたことが報告された。次に参加者の施設あるいは地域格差をなくすために、各都県薬にWS窓口を作りウェーティングリストの作成と資格取得者の追跡調査を依頼する旨の報告がなされた。また、アドバンスWSも実施する必要がある、既に実施されている場合には参考として内容の提出をお願いしたい旨の報告がなされた。

(5) トラブル小委員会 (資料3-4)

柳川トラブル小委員会委員長より、平成23年度第1回トラブル小委員会報告があった。

施設変更または実習中断した事例はそれなりの事由があるゆえ、全て大学側から関東地区調整機構に報告をして貰う旨の報告がなされた。

4. 平成23年度関東地区調整機構予算執行状況および決算予測 (資料4)

永田委員より平成23年度関東地区調整機構予算執行状況および決算予測に関して報告があった。

[審議事項]

1. 平成23年度第1回病院・薬局実務実習関東地区調整機構委員会総会議事録 (案) (資料5)

中村委員長により、平成23年度第1回病院・薬局実務実習関東地区調整機構委員会総会議事録 (案) について説明と質疑があり、審議の結果、議事録として承認された。

2. 平成24年度事業計画 (案) (資料6)

中村委員長より、平成24年度事業計画 (案) が説明され、審議の結果、承認された。

3. 平成24年度関東地区調整機構予算 (案) (資料7)

永田委員より、平成24年関東地区調整機構予算 (案) が説明され、審議の結果、承認された。

4. 平成25年度病院・薬局実務実習割振り日程 (案) (資料8-1、8-2)

中村委員長より、平成25年度の割振り日程が提示され、各小委員会で検討後、総会にて最終決定することで了承された。

5. 関東地区調整機構規則の改定 (案) (資料9)

中村委員長より、関東地区調整機構規則の改定について、新旧対照表により説明があり、平

成24年度第1回目の総会にて承認を得たいとの提案がなされ、4月21日（土）迄に追加・修正、変更等に関する意見をいただきたいとの要望があり、継続審議となった。